

科目名	教科書名	副教材
中学3年 技術・家庭 【技術分野】	技術・家庭【技術分野】（開隆堂）	複合材料セット

1. 授業のねらい

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成および情報に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

2. 授業のすすめ方

1. コンピュータを利用したマルチメディアの活用について
 - (ア) ICT 機器を利用した作品の記録や作品紹介の手法を学習し活用
 - (イ) プログラムによる計測・制御について実習や小テスト等で確認
2. 情報通信ネットワークと情報モラルの内容を，小テスト等で確認
3. エネルギー変換に関する技術について
 - (ア) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検の内容を，小テスト等で確認
 - (イ) エネルギー変換に関する技術を利用した作品の設計・実験
4. 生物育成に関する技術に関して
 - (ア) 生物の生育環境と育成技術の内容を，小テスト等で定着の確認
 - (イ) 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育について学習した内容のまとめ

3. 学習上の留意点

1. 授業中は授業担当者の指示に従い，指示が必ず通るようにしておくこと（理解できなかった説明をそのままにせず，その場ですぐに確認すること）。
2. 授業中は事故防止の為以下の行為は禁止する。
 - (ア) 授業担当者の指示の妨害（作業説明中の私語），実習室で走る，ふざける
 - (イ) 実習中，実習外での工具・PC等の無断使用や無断借用
 - (ウ)（担当教員が指示した場合）固定されていない頭髪（長髪），作業上危険な服装
3. 週の時間数が少ないので忘れ物はしないこと（忘れた場合は授業時間前に報告）。
4. 提出物は提出期限内に提出すること（報告・連絡・相談を密に行うこと）。
5. 実習中に実習に関連したコミュニケーション（アドバイスや検査など）を積極的に生徒間，生徒・授業担当者間で行うこと。
6. 担当教員の許可を得ない授業の録音・録画，写真の撮影は認めない。
7. ID・パスワードを忘れない事（無くさない事）。

～Computer garden の ID・パスワードに関して～

ID に使用する生徒証記載の『生徒番号』を教科書の名前の下に転記する。

設定するパスワードは暗記(半角英数字 8 文字以上・大文字と小文字の区別あり)。

～NU-MailG のアカウントに関して～

① 授業で配布されたアカウント情報の写真を大きめに撮る（ブレ・ボケ×）。

② ①の写真をクラウド上（ロイロノートの自分の「資料箱」の中）に保存する。

（クラウド上に保存されれば端末故障時でもデータが消えてしまわないから）

8. 授業を欠席・公欠した場合は授業内容を次回の授業前までに確認し，必要であれば授業担当者の指示を仰ぐこと（進度によっては補習が必要になるため）。

4. 副教材

複合材料セット（山崎教育システム株式会社）

5. 評価の視点・課題等

以下の項目に基準（ルーブリック）を設け、小テスト・平常点と合わせて評価する。

- 1) 作品（プリント等の提出物含む）の過程と仕上げ
- 2) iPad や PC のソフトウェアを使用し、課題の設計・製作の過程と作品

6. 定期考査

実施しない。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	B エネルギー変換に関する技術 3 動力の利用	小テスト	内容を理解できる
	5	4 エネルギー変換の実際		
二 学 期	6	A 材料と加工に関する技術 5 製作（複合材料）	構想図 材料取り図	図表を用いて具体的かつ効率的な作業を考えることができる。
	7	①部品表と工程表 ②けがき		
	9	A 材料と加工に関する技術 5 製作（複合材料）	作品の完成度 ・強度と構造 ・問題解決する工夫 ICT 機器 (iPad) を用いた活動 ・製作過程記録 ・作品紹介	材料の特性や問題解決の手法に合わせた加工法を選択・組み合わせ、問題解決できる。 ICT 機器 (iPad) を活用し記録をとることができる。
	10	③切断④切削⑤曲げ・穴あけ		
	11	⑥部品の検査と修正 ⑦組み立て		
12				
三 学 期	1	C 生物育成に関する技術 5 動物の飼育	小テスト	内容を理解できる。
	2	6 水産生物の栽培		
	3	7 生物育成に関する技術の評価・活用		
		(通年) D 情報に関する技術 7 プログラムによる計測・制御 8 情報に関する技術の評価・活用	小テスト プログラム課題 ※忘れ物・授業態度等は、平常点とする。 (20%程度)	内容を理解できる。 プログラムの構成について理解できる。 ※製作系の授業と情報の授業は進度等によって適宜交換する。

※他教科との連携や授業進度、生徒の理解度によって内容の変更・省略をする場合がある。